

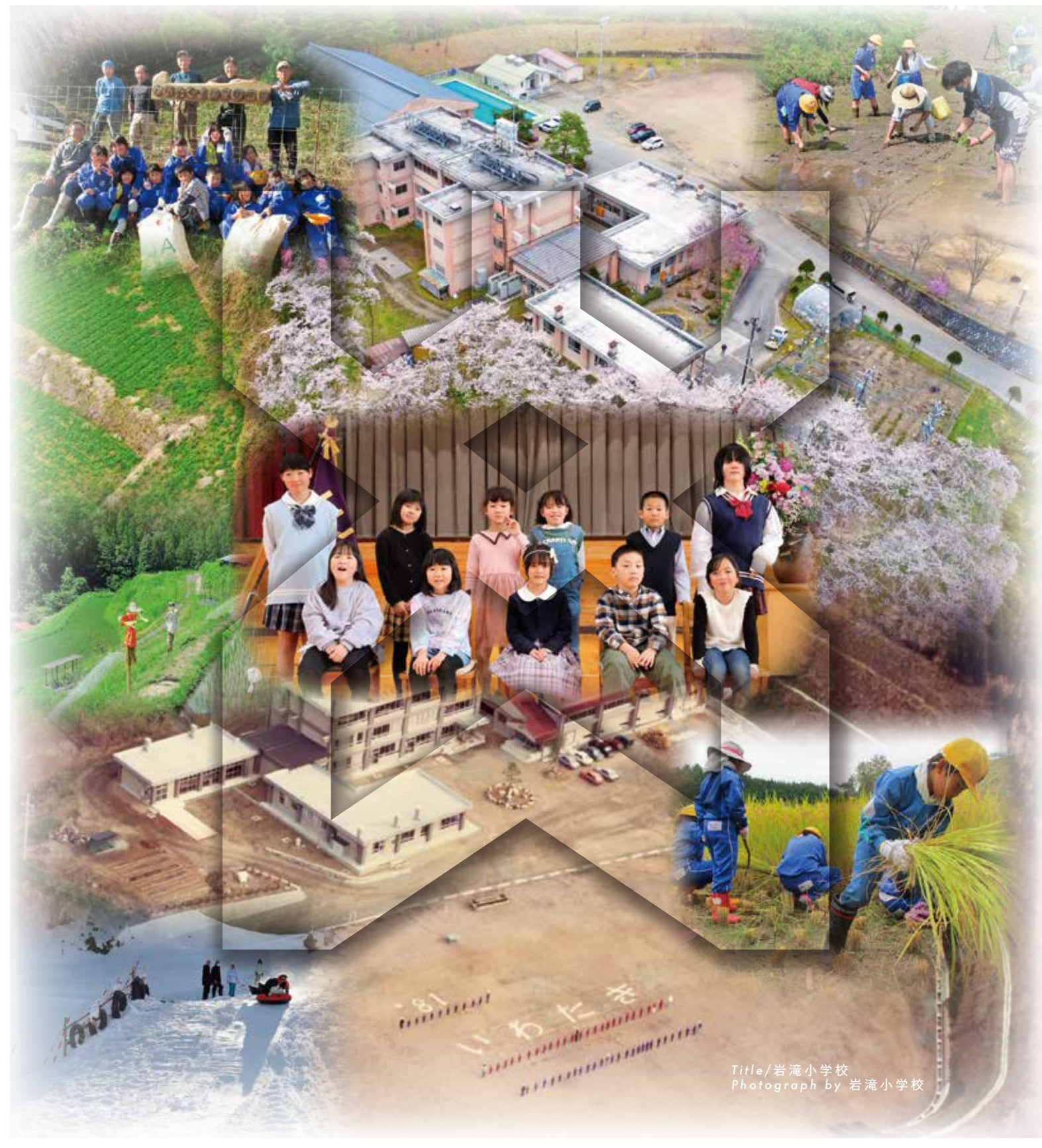
# きかしまより

Contents

- P 2 新年度予算審査
- P 4 定例会の報告  
議案審査
- P 7 一般質問
- P11 閉会中の活動報告
- P14 クローズアップ特別委員会
- P16 議会トピック

№55  
2024  
5.1  
SPRING

題字/岩滝小学校5年生(令和5年度当時) にしの めい 西野 芽生さん・塚本 つかもと 奈々花さん  
岩滝小学校の皆さんから応募をいただきました。



Title/岩滝小学校  
Photograph by 岩滝小学校

## 令和6年度予算・総額940億4,370万円 一般会計(617億円) 特別会計及び企業会計(323億4,370万円)

3月定例会は、3月1日から3月26日までの会期で開催され、令和6年度高山市一般会計予算を含む、報告案件2件、条例案件28件、事件案件5件、予算案件16件、人事案件9件、議員発議2件の計62件を決定しました。

### 令和6年度予算は…

田中市政として行う2回目の当初予算編成となり、市町村合併後最大の予算額であった昨年度を大きく上回る総額940億4,370万円が計上されました。また令和6年度は平成27年度からの第八次総合計画の最終年度にあたり、田中市長の公約である「輝く市民が暮らすまち飛騨高山」の実現に向け、若者・子育て支援、地域医療の確保、地域課題の解決など多岐分野にわたる取組に加え、これまで様々な議論を行い進められてきた複数の著大事業への着手や、第九次総合計画が策定される年度となります。

### 議会では…

総合計画など各重点事業の進捗、決算から予算への連動、政策提言及び調査研究項目の検証、コロナ禍が与えた影響と対応、人口減少や人材不足への取組、若者や子育て支援に関わる事、防災への取組、域内経済の循環、高山市の財政状況などといった視点で審査を行いました。

なお、前年実績を下回るふるさと納税に関しては委員間討議を行い議会の合意事項として、来年度に向けて「ふるさと納税には、相当な覚悟を持って取り組んでいただきたい」との意見を議長から市長に対し口頭で申し述べ、市長からは「様々なご意見をいただいた。それをしっかりと受け止めて、覚悟を持って取り組んでいく」との発言がありました。

## 主な新規・拡充事業

### 令和6年度の主な新規・拡充事業は以下の通りです。

- ・市民活動や若者の自主的な活動への支援 (370万円)
- ・高山駅西地区複合・多機能施設整備の事業者選定 (2,482万円)
- ・地域おこし協力隊制度を活用した地域振興 (1,824万円)
- ・脱炭素先行地域づくり事業に対する助成 (4億6,900万円)
- ・市産材を利用した住宅建築等に対する助成の拡充 (2,970万円)
- ・高山あおい保育園の整備に対する助成 (2億5,500万円)
- ・地方卸売市場の機能向上設備の導入に対する助成 (3,500万円)
- ・原山市民公園複合遊具等整備 (1億7,000万円)
- ・高機能消防指令システム等の更新 (13億7,660万円)
- ・「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催 (1,010万円)
- ・野球場の整備 (2,430万円)
- ・高山給食センターの整備手法・事業者選定 (1,500万円)
- ・移動診療業務の実施 (3,920万円)
- ・下水道管理システムデータ(下水道GIS)の整備 (5,600万円)

## ● 総務環境委員会の視点から ●

### デジタル技術の活用について

**問** DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進について、RPA( ロボティックプロセスオートメーション) の活用の状況は。

**答** 市民サービスの向上のため、窓口受付支援システムを導入し、税務課で 352 時間、市民課で 112 時間の業務時間を削減できている。

### 脱炭素先行地域づくり事業に対する助成について

**問** 高山市は、環境省から国の脱炭素先行地域に県内で初めて選定された。2050 年の市全域ゼロカーボンの実現を目指す中で、地熱発電に関する市の考えは。

**答** 脱炭素先行地域づくり事業は、5年間、国の交付金を得ながら実施する事業で、今回は地熱発電の取組は入っていない。ゼロカーボンに向けては、様々な再生可能エネルギーの活用が必要であり、将来的には地熱発電についても検討しなければならないと考える。

## ● 福祉文教委員会の視点から ●

### 人工透析療養者への支援について

**問** 人工透析通院費助成で介護タクシー等を利用する場合は、手続きを福祉課で行うのか。

**答** 償還払いとなるため福祉課の窓口での対応となる。

### GIGA スクール構想について

**問** これまでの取組の評価は。

**答** 教育研究所にいる ICT 支援員が学校に出向いて ICT を広める役割を果たしている。その他、研修等に参加し全体の質が上がるよう取り組んでいる。

## ● 産業建設委員会の視点から ●

### 伝統的工芸品産業の後継者育成

**問** 後継者育成の助成についてどのような事業を行っているか。

**答** 一位一刀彫、春慶の事業所または研修者への助成、伝統建築についても事業所と研修生に助成し後継者育成をしている。

### 若者支援

**問** 若者の U ターンを促進する意向はどうか。

**答** 若者の支援制度については地元就職の支援金や家賃の初期経費に対する支援、奨学金の支援などがある。奨学金の支援については、当初5年間でスタートして徐々に期間を短縮し廃止する予定であったものを元に戻して拡充し実施している。若者地元就職支援金は、地元企業に就職される方が使われる場合が多いが、地元で自ら開業された方も対象にしているので窓口で相談してほしい。

## ● 総務環境委員会 ●

## 「市民福祉部」、「こども未来部」や「医療保健部」の設置など行政組織条例の改正

**問** 新設する「こども未来部」が所管する「こども」の範囲は。

**答** 制度により18歳や20歳など、年齢で子どもの範囲が区切られているが、制度のはざまに取り残さないように社会的な自立を基本に切れ目のない支援を行うため、「こども」の名称を用いている。

**問** 新設する「こども家庭センター」とは。

**答** 今までの子ども発達支援センターに母子保健を担う機能を一体化してこども家庭センターとし、相談から支援まで関係者と連携し、一歩前に出た取組を行える組織にする。

## 高山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の改正

**問** 勤労手当の対象やその人数は。また、金額規模は。

**答** 任期が6か月以上で、週の勤務時間が15時間30分以上の会計年度任用職員が対象。フルタイム職員141人、パートタイム職員307人を見込み、令和6年度予算ベースで、1億5,000万円程度を見込んでいる。

## ● 福祉文教委員会 ●

## 高山市国民健康保健条例の改正

**問** 条例改正の目的は。

**答** 賦課限度額の見直し及び中低所得者の方の負担を軽減するため保険料の軽減判定基準の見直しを行うもの。

**問** 賦課限度額が2万円上がる根拠は。

**答** 国は賦課限度額を超える世帯の割合が、加入世帯の1.5%に近づくように段階的に保険料を上げるとしており、今回、高山市もこの割合を超えている後期高齢者支援金等分について引き上げることにした。

## 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例等の改正

**問** 介護支援専門員の配置基準の見直しに対する現場の声は。

**答** 介護支援専門員一人につき、49件まで対応できる一方で、ICT活用などにより、事務負担を軽減できる。データ連携システムの活用や事務職員の配置といった要件があり、事業所からは、システムの活用が負担軽減に有効との声も聞いているが、実際に49件を担当するかは事業所の判断になる。

## ● 産業建設委員会 ●

## 鳥獣被害対策実施隊員（狩猟免許所持者）による緊急出動の報酬等を定める条例の改正

**問** 報酬の改正にあたって、現場の声はどのように反映されているのか。

**答** 令和5年4月に鳥獣被害対策実施隊の隊長会議を開催した際に支援の要望があり、それを踏まえて報酬という形で対応することとし、今年2月の隊長会議で説明しご理解いただいた。

## 市有財産のみぼろ湖オートキャンプサイトの無償譲渡に係る観光施設の条例の改正

**問** みぼろ湖オートキャンプサイトを譲渡した後、市の関わりについての考えや地域振興を含めどう支援していくのか。

**答** 譲渡先の<sup>みぼろ</sup>御母衣湖観光開発株式会社は、昭和48年の発足当初より旧荘川村及び白川村から出資を受けており、高山市長、白川村長が取締役として役員に入っている。そうした関わりがあるので、必要な助言や経営状況の確認を引き続き行っていく中で、荘川地域の振興発展に貢献していきたい。

## 令和5年度補正予算審査

### 人事院勧告を踏まえた指定管理料の人件費分増額に伴う補正予算など5件を審査

#### 一般会計補正予算

- ◆ 一般会計補正予算 (第12号)
  - ・減債基金積立金や障がい者福祉サービス給付費の増額、卸売市場プレハブ冷蔵庫・冷凍庫整備等に係る繰出金、指定管理料の人件費分の増額ほか **390,479千円**

#### 特別会計補正予算

- ◆ 地方卸売市場事業 (第3号)
  - ・卸売市場プレハブ冷蔵庫・冷凍庫整備工事 **340,000千円**
  - ・指定管理料の人件費 **430千円**
- ◆ 介護保険事業 (第2号)
  - ・介護給付費の減額及び財政調整基金への積立 **△12,000千円**
- ◆ 観光施設事業 (第2号)
  - ・平湯バスターミナル周辺整備事業  
次年度繰越 **15,400千円**
- ◆ 後期高齢者医療事業 (第1号)
  - ・後期高齢者医療広域連合納付金の増額 **10,000千円**

### ・主な質疑

- 問** 指定管理料の人件費増額分の対象者は。
- 答** 非正規職員の人件費を増額する。市の会計年度任用職員の扱いに準じて算出している。
- 問** 平湯ビジターセンターの工事が遅延しているが、開業日に遅れはないか。
- 答** 令和7年7月頃の予定に変更はない。
- 問** 市民プールの防水工事を追加することで、7月オープンに間に合うのか。
- 答** 開業時期7月中旬に変更はない。
- 問** 松泰寺橋架け替え工事の完成予定日は。
- 答** 令和6年7月～8月としている。
- 問** 山王小学校プール改修設計等委託費において、今年の夏は使用できるのか。
- 答** 令和6年度のプール利用ができるよう計画している。
- 問** 旅行村線道路新設事業の進捗は。
- 答** 山の軟弱土質の対策に時間を要しているが、令和9年度の供用開始に向け進める。

## 議 員 発 議

### ◆【発議第1号】市役所の組織変更に伴い、議会内の所管を変更する高山市議会委員会条例改正の提案

- ① (改正前) 福祉部 → (改正後) 市民福祉部  
[議会所管] 福祉文教委員会
- ② (新設) こども未来部  
[議会所管] 福祉文教委員会
- ③ (改正前) 市民保健部 → (改正後) 医療保健部  
[議会所管] 福祉文教委員会



### ◆【発議第2号】『ガザ地区における即時停戦に向けた行動等を求める意見書』の提案

イスラエルとイスラム組織ハマスの軍事衝突により、多くの人命が失われ、人権も侵害されている。それに伴うこれ以上の物価上昇は、疲弊した市民生活の破綻に繋がる。よって高山市議会は、本市の平和理念の下、日本国政府に対し以下の4点を求める。

- ①ガザ地区の即時停戦に対し、一層の尽力と行動
- ②当事国(地域)による国際法・国際人道法の遵守の勧奨
- ③日本国による支援物資の供給を通じた人道危機の改善
- ④物価上昇に対する国民生活支援策の継続、及び家計への負担増加を回避するさらなる施策の充実



※この記事は要約して掲載しています。原文はホームページをご覧ください。⇒



### 3月定例会 上程議案一覧表

3月定例会に上程された議案及び議決結果は次のとおりです。

#### 市長提出議案

議案番号	件名	付託委員会	議決結果	議案番号	件名	付託委員会	議決結果
報第1号	損害賠償の額の決定の専決処分について	-	報告終了	議第23号	高山市民文化会館条例等の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
報第2号	令和5年度高山市一般会計補正予算(第10号)の専決処分について	-	報告終了	議第24号	高山市図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第1号	令和5年度高山市一般会計補正予算(第9号)の専決処分について	-	承認	議第25号	高山市体育施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第2号	高山市監査委員条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決	議第26号	高山市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第3号	高山市行政組織条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決	議第27号	高山市給水条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第4号	高山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決	議第28号	高山市農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第5号	高山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決	議第29号	高山市公設地方卸売市場プレハブ型冷凍冷蔵庫設置工事請負契約の締結について	産業建設	原案可決
議第6号	高山市各種委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決	議第30号	市有財産(みぼろ湖オートキャンプサイト)の無償譲渡について	産業建設	原案可決
議第7号	高山市職員の給与に関する条例及び高山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決	議第31号	市有財産(宇津江公衆便所)の無償譲渡について	産業建設	原案可決
議第8号	高山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決	議第32号	市有財産(観好寺公衆便所)の無償譲渡について	産業建設	原案可決
議第9号	高山市手数料条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決	議第33号	証明書交付等に関する事務の委託の廃止について	福祉文教	原案可決
議第10号	高山市認可外保育施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び高山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第34号	令和5年度高山市一般会計補正予算(第12号)	予決特	原案可決
議第11号	高山市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第35号	令和5年度高山市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第3号)	予決特	原案可決
議第12号	高山市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第36号	令和5年度高山市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	予決特	原案可決
議第13号	高山市福祉センター管理条例及び高山市老人デイサービスセンター管理条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第37号	令和5年度高山市観光施設事業特別会計補正予算(第2号)	予決特	原案可決
議第14号	高山市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第38号	令和5年度高山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	予決特	原案可決
議第15号	高山市介護保険条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第39号	令和6年度高山市一般会計予算	予決特	原案可決
議第16号	高山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第40号	令和6年度高山市国民健康保険事業特別会計予算	予決特	原案可決
議第17号	高山市観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決	議第41号	令和6年度高山市地方卸売市場事業特別会計予算	予決特	原案可決
議第18号	高山市都市公園条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決	議第42号	令和6年度高山市学校給食費特別会計予算	予決特	原案可決
議第19号	高山市営住宅条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決	議第43号	令和6年度高山市介護保険事業特別会計予算	予決特	原案可決
議第20号	高山市空家等の適切な管理及び活用の推進に関する条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決	議第44号	令和6年度高山市観光施設事業特別会計予算	予決特	原案可決
議第21号	高山市立学校の設置等に関する条例及び高山市放課後児童クラブの設置等に関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第45号	令和6年度高山市後期高齢者医療事業特別会計予算	予決特	原案可決
議第22号	高山市学校給食センターに関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決	議第46号	令和6年度高山市水道事業会計予算	予決特	原案可決
				議第47号	令和6年度高山市下水道事業会計予算	予決特	原案可決
				議第48号	公平委員会委員の選任について	-	同意
				議第49号~54号	人権擁護委員候補者の推薦について	-	同意
				議第55号	令和5年度高山市一般会計補正予算(第11号)の専決処分について	-	承認
				議第56号	高山市税条例の一部を改正する条例について	-	原案可決
				議第57号	副市長の選任について	-	同意
				議第58号	教育長の任命について	-	同意

#### 議員提出議案

議案番号	件名	上程日	議決結果
発議第1号	高山市議会委員会条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決
発議第2号	ガザ地区における即時停戦に向けた行動等を求める意見書について	3月26日	原案可決

### 3月定例会の議案賛否一覧

3月定例会の提出議案における各議員の賛否は次のとおりです。その他の議案においては、いずれも全員一致で可決・承認しました。

	丸山純平	中村匠郎	戸田柳平	益田大輔	坂下美千代	平戸芳文	片野晶子	水野千恵子	石原正裕	西本泰輝	伊東寿充	西田稔	沼津光夫	榎隆司	山腰恵一	渡辺甚一	岩垣和彦	中茂博之	倉田博之	松山篤夫	上嶋希代子	車戸明良	水門義昭	小井戸真人
議題4・14・39・40号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第42号	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※[○]は賛成、[●]は反対。水門議長は採決に加わりません。

## 3月定例会

# 一般質問

3月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

QRコードから各議員の一般質問をご覧ください。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

## 能登半島地震を教訓とした危機管理について

未来  
松山篤夫



**問** 消防庁は、能登半島地震による輪島朝市周辺の大火災は、屋内の電気に起因した可能性があるとの見方を示している。木造家屋の多い高山市内での出火を抑えるために、地震発生時に自動で通電を遮断する感震ブレーカーの設置補助に対する市の考えは。

**答** 大地震への備えとして感震ブレーカーの普及対策は重要である。関心も高まっているので、啓発チラシや動画の作成なども検討し、感震ブレーカー設置の普及強化に努める。補助については、国や他自治体の取組状況などを把握しつつ、補助の必要性やあり方を研究する。

## 地域医療について

未来  
車戸明良



**問** 高山赤十字病院は老朽化の課題があり、新病院の建設を各方面から期待されているが進んでいるのか。市としての関りは。

**答** 令和4年度に新病院建設協議会が立ち上げられ、市も参加し意見を述べてきた。計4回開催された新病院建設協議会の報告書が、令和5年9月に高山赤十字病院運営協議会に提出され、これを基に病院の中で検討が進められている。

**問** 丹生川診療所は、医師の体調不良で休診となっている。外来診療や在宅医療など重要な役割を担っているが、どう対処するのか。

**答** 地域の医療体制を守るため、欠かすことのできない診療所と考えており、医師の意向や状況を聞きながら、代診医の派遣など市として必要な支援を検討していく。また、在宅医療についても、今後必要な取組を検討していく。

## おたふく風邪ワクチンへの助成について

新政たかやま  
中村匠郎



**問** こども未来部を新設し、安心して子育てができる環境の充実を目指す本市において、所得制限等を設けず幅広い方々が利用できるおたふくかぜワクチンへの助成を早期実現する考えは。

**答** ワクチンを助成する方向であるが、具体的な方法について結論に至っていない状況である。まずは予防接種について十分理解した上で検討ができるよう、母子手帳交付時、お子さんが生まれた後、接種時期が近くなった段階での周知等、情報発信について工夫していく。

## 道路改良で住民の安全 安心な生活を守ろう!

新政たかやま

西田 稔



**問** 江名子町側で松之木千島線と交差する県道岩井高山停車場線がある。現在の幅員は狭く松之木千島線の整備に併せた改良を行うと伺っているが、現在の状況はどのようになっているのか。

**答** 現在の県道は、交通量に対して幅員が狭く、車両の通行や安全性に課題があることから、右折車線の設置や一部区間の拡幅整備が必要と考えており、管理者の高山土木事務所と施工区分を含め整備に向けた協議を進めている。県道の整備については、令和9～10年度に予定する、松之木千島線の江名子町側の工事時期に合わせて実施できるように調整していく。



県道岩井高山停車場線

## 自然災害への対応につ いて

新政たかやま

沼津 光夫



**問** 能登半島地震では、水道施設で多くの被災があり復旧に時間がかかっている。災害時には早急に地域住民に配水することが重要だと考えるが、市の給水施設や消火栓から給水することはできないか。

**答** 市では災害時の飲料水の供給について高山市地域防災計画の中で給水計画として定めており、給水可能な施設が27施設ある。その内、10箇所の施設を緊急時給水拠点に位置づけ、緊急給水栓のほか飲料用ホース、給水ポンプ、発電機等給水に必要な備品の整備を行い、災害時に水道管が被災し断水となった場合でも迅速に飲料水を供給することが可能となっている。また、消火栓からの給水については、被災状況によるが、給水栓を設置することで飲料水の供給が可能となっている。

## 飛騨牛乳を生産する市内 酪農家への支援について

みんなで未来をつくる会

丸山 純平



**問** 全国的に酪農家の経営は大変厳しい状況であり、廃業・離農が相次ぐなど「酪農危機」が叫ばれている。市は酪農家への支援に関してどう考えているのか。

**答** 令和4・5年度において、国や県の支援がない粗飼料に対する価格補填や、自給飼料の生産拡大への助成等を実施して畜産農家の負担軽減に努めている。令和6年度の予算においては、新たに優良乳用牛保留導入に対する支援拡充を盛り込んでいる。今後も国や県へ支援の要望を働きかけながら、市内酪農家等の意見を聞き、市としてできる対策を考えていく。

## 高校生の不登校、退学者 への支援について

みんなで未来をつくる会

益田 大輔



**問** コロナ禍もあり、高校で不登校となり、退学する生徒も増えている。その後の社会との関わりが途絶え、孤立、ひきこもりに至るケースも懸念される。人生100年時代、これから長い人生を送る子どもたちに、居場所とともに、もっと積極的な支援を考えるべきではないか。

**答** 学校から離れ、社会とのつながりが少ない子どもたちがいると承知している。ひきこもり対策の観点からも丁寧に声を聴き、必要な支援が届くように取り組んでいきたい。



### おひとりさまの尊厳が 守られる終活支援を

高山市議会公明党  
山腰 恵一



**問** 身寄りのないひとり暮らしの高齢者が死亡した際、引き取り手がなく市が火葬した数は。また、生前から意向を残す終活が重要であり、終活支援センターの設置や葬儀・火葬・納骨等をサポートする「エンディングプラン・サポート事業」を検討してはどうか。

**答** 墓地埋葬法により市が葬儀を行うこととなっており、近年では、令和2年度14件、令和3年度8件、令和4年度12件、今年度15件である。終活支援では、成年後見支援センターが対応している。また、「エンディングプラン・サポート事業」の実施については検討が必要と考える。



### 公共施設等総合管理 計画の検証・見直しを

高山市議会公明党  
中 箴 博之



**問** 現状、十分に活用されていない公共施設もある中で、民間の視点を取り入れ、行政の縦割りを越えた利用促進やDX化による効率化など、「市民の幸福に資する公共施設」という観点で、策定後5年を迎える公共施設等総合管理計画の検証・見直しが必要ではないか。

**答** 公共施設等総合管理計画は2050年までを計画期間としているが、社会情勢や価値観の変化に柔軟に対応する施設のあり方や使いやすさ等を検証した上で、令和7年度からの新たな実施計画を定めるのに合わせて、基本方針についても令和6年度に見直すこととしている。



### ふるさと納税額の 落ち込みの責任は

創政・改革クラブ  
岩垣 和彦



**問** ふるさと納税仲介事業者を市が変更したことにより、ふるさと納税の寄附額が大幅に落ち込む見込みとなっている。議会は事業者の変更の際に「市内における資金循環および人材育成の重要性を踏まえた政策運営を求める決議」を市長に提出している。これは、地域経済はもとより若者等の人材育成が阻害される可能性を鑑み決議したものであるが、これに対する市長の見解は？。

**答** ふるさと納税の状況は遺憾に思うが、決議を重く受け止め、市内の資金循環と若者や女性を中心とした人材育成を意識し、市長としてしっかり旗を振りながら市政運営に努める。

### 「飛騨民俗村再整備構想」 と「旅行村線」

創政・改革クラブ  
倉田 博之



**問** 市道旅行村線は飛騨民俗村の再整備において重要だが、2度の路線変更を経て別方向の宗教法人前で国道158号に接道された。当該路線は外環状道路の位置づけで、かつ国道158号の混雑緩和が当初目的のはずだが、混雑エリアの手前で国道につなげ、しかも民俗村への路線改善がない現状は何一つ目的を達成できないのではないか。

**答** 暫定ルートであり、原山市民公園東側の行き止まりから工事を再開した。民俗村につながる道路狭隘部分は改善に努める。



【市道旅行村線計画変更概略図】

## パンデミック条約締結と 国際保健規則改正について

無会派

片野晶子



**問** 条約の締結や交渉は市の所管ではないが「地方自治法改正案」が閣議決定され重大な事態が発生した場合、国が直接自治体に指示を行えることになった。国民に詳細が知らされないまま 2024 年 5 月の WHO 総会で締結、改正の採択がされようとしていることを市としてどう考えるか。

**答** 国から直接通知を受けたことはなく、国のホームページに掲載されている情報を知り得ているのみである。締結される場合は、国会の承認を含め、丁寧な説明をされるということなので、公表できる段階になれば政府から発表があるものと考えている。



## 今後の中長期的な 財政計画の考えについて

無会派

小井戸真人



**問** 令和 6 年度以降、多くの著大事業に取り組む予定であるが、第九次総合計画期間中に取り組む事業に対して必要とされる投資的経費の規模と財源の見通しは。

**答** 国立社会保障人口問題研究所が公表した人口推計では高山市の人口ビジョンの展望人口よりも人口減少が厳しい推計となっており、市税収入や義務的経費、一般行政経費は多少減少するが、インフラ整備に要する投資的経費はそれほど減少しないことから、財政運営はさらに厳しくなると分析している。



## 和牛繁殖農家への 支援について

日本共産党高山市議団

坂下美千代



**問** 和牛子牛の取引価格の下落が止まらず、ロシアのウクライナ侵攻や円安により、飼料価格は高騰していることから、和牛繁殖農家は厳しい経営状況が続いており、廃業を迫られている農家もある。飛騨牛ブランドを守っている農家に、市として思い切った支援策を講じられないか。

**答** 令和 4 年度から 2 か年、粗飼料価格高騰対策事業等を実施し、農家の負担軽減に努めてきた。最近、粗飼料価格は緩やかに下がりつつあるが、今後も、粗飼料価格の動向に注視しつつ、国や県にも強く働き掛けを継続すると共に、農家の意見を聞きながら、市としてできる対策を検討していく。



## 高山市が出資している会社 の寄附問題について

日本共産党高山市議団

上嶋希代子



**問** 市が出資している奥飛観光開発（株）から自民党岐阜県第 4 選挙区支部へ 10 年間にわたり 100 万円を寄附していることが、政治資金規正法に抵触しているのではというマスコミ報道についての説明を。また、市が出資している他団体も調査し公表を。

**答** 奥飛観光開発（株）からは、認識不足により寄附を行っていたこと、寄附の返金があったこと、今後は寄附しないことなどの報告があった。他の出資団体については、調査を行い公表する。

## 議会閉会中の委員会活動

高山市議会では、毎月、総務環境委員会、福祉文教委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会を開催し、市の重要事項について執行部から協議・報告等を受け議論を行うとともに、市政に関する調査研究活動を行っています。

### 行政視察報告

#### ●福祉文教委員会●

#### 愛知県岡崎市「岡崎市重層的支援体制整備事業について」

包括的な支援体制の整備と重層的支援体制の整備を所管する「ふくし相談課」を新設し住民の困り事を受け止めるためのあらゆる方法（アウトリーチ等を通じた継続的支援、多機関と協働し連携強化）を用いて、職員は「市民のどんな相談も断ってはいけない」との姿勢を貫いています。

市役所の窓口の仕切りを全て取り払い気楽に立ち寄れるよう改修工事をした成果も自治会加入率90%の数字にあらわれています。

人口が38万人の岡崎市と高山市を比較するのは難しいが、共通しているのは「誰ひとり取り残さない」と言う考え方です。多くのヒントをいただきました。



#### 静岡県焼津市「ターントクルこども館」



焼津市南口より徒歩8分の立地にあり2、3階に「焼津おもちゃ美術館」1階・中2階に図書館「やいづえほん」と併設されたこども館を視察しました。

漁業の街であり海、自然、地域文化を「木」を使って伝えるコンセプトから成り、館内の空間・什器・おもちゃに多くの静岡県産木材が使用されていました。

「おもちゃ美術館」は多世代が楽しめる体験型で館内全てに時間を忘れて遊べる空間を創出、「やいづえほん」は貸出はしていない分、好きなブースで思い思いに本を読むことができ絵本を通じて「出会い」「創造」「安心」の可能性を広げることを目的としています。

#### 岐阜県「ぎふ木遊館」

岐阜県が平成25年3月に策定した「ぎふ木育30年ビジョン」に基づき、森林率全国2位の岐阜県ならではの木育に特化した施設です。

館内は靴を脱いで（できれば素足で）歩き回れば木の優しさ、ぬくもり、心地よさを体感できます。

施設は、荘川町のカラマツを天井に使用しており、白川郷の合掌造りをイメージした空間があったり、フロアは全て県内の木材を使った遊具であふれ「ぎふ木育」を発信しています。

今年度、高山市の「ぎふ木遊館サテライト施設」がオープン予定です。

「木育」で子ども達の豊かな感性を育みふるさとの自然・文化・人とのつながりを学ぶことで環境保護の大切さにも気づいてくれることを期待します。

詳しい報告書はホームページを参照ください。



## ● 産業建設委員会 ●

産業建設委員会では令和6年1月25日・26日の二日間、静岡県熱海市にて「宿泊税の導入」と「ロケサポート」について視察を行いました。

古くからの温泉街で、国内外の観光客でにぎわう熱海市では、観光振興を目的に市内の宿泊者に対し独自に課税する宿泊税の導入を以前より検討しています。背景としては、熱海市の人口は直近の約30年間で約3割減少し、高齢化率は県内1位の48.5%を記録しており、人口減少と高齢化の加速に伴い、社会保障費の増額が見込まれる中で、今後も安定的な観光目的財源を確保するためとあります。

熱海市が観光政策に支出する経費としては、各地区の旅館組合・観光協会等の観光関連団体の活動や事業者支援、地域の魅力向上・活性化に係る固定経費など約10億円を想定されています。このうち、宿泊税で約7億円、残り約3億円を入湯税を含む一般財源から充当することを考えており、宿泊税で充当する約7億円を、熱海市の年間宿泊者数である約300万人で割った200円を宿泊税の税率の検討材料としています。加えて、熱海市は観光団体幹部や市職員らでつくるDMO（観光地域づくり法人）を2025年度に設立予定としており、DMOに徴収事務を委ね、観光施策の企画立案や実施も任せるとのことでした。



熱海市が直面している人口減少・高齢化の現状に驚きつつ、社会保障費を確保しながら持続可能な観光産業を模索する中で、宿泊税の導入には検討の余地があると感じました。またそれに合わせてDMOを設立し、市から観光部門を切り離す戦略は、徴収後の使用用途の適正化を図るためにも必要な取組であると考えます。

詳しい報告書はホームページを参照ください。



## 高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会

当特別委員会は、高山駅西地区に整備予定の複合・多機能施設建設に関する調査研究を行っており、1月31日に愛知県安城市の中心市街地拠点施設「アンフォーレ」を視察しました。

高山駅西地区に建設予定の施設整備については、公民連携で事業を推進する方針が示されており、事業手法について検討されていることから、PFIの手法で整備した安城市の施設整備に関する取組についてご教示いただきました。「アンフォーレ」は構想策定から約10年間で整備されています。市民との意見交換やパブリックコメント、事業者との協議などに多くの時間を費やしてきたことを実感しました。

担当者からは、PFIの手法によって事業費が削減されたこと、図書館との併設によって施設の賑わいが創出されているとの説明を受け、現地を確認しましたが、平日にもかかわらず多くの市民が訪れていました。

一方で、定期借地事業で進められたスーパーは経営が苦しい状況となっており、建設時の事業者は採算が合わないとして撤退し、現在の店舗は2つ目の事業者が営業しています。また、「アンフォーレ」へ入場した人が周辺へ回遊していないことや、周辺商店街との連携がうまくいっていない等の課題についても説明を受けました。

高山市の整備においては周辺住民との連携が重要であり、地域の活性化に寄与できる施設とする必要があることを再確認するとともに、安城市の取組も参考として調査研究を進めます。

## 産業廃棄物最終処分場建設計画調査特別委員会

令和6年2月9日、昨年11月に富山県内で新たに設立された庄川流域六ヶ所産廃処分場計画対策協議会を訪問し、役員の方々と情報共有を図るとともに、相互の取組状況や今後の連携等について意見交換しました。

対策協議会には、庄川流域の砺波市・南砺市・高岡市・射水市の農業・漁業団体、自治振興会連合会など26団体が参画しています。対策協議会では、神通川流域で起きた日本の四大公害病のひとつであるイタイイタイ病の経験から、砺波平野を潤す庄川の源流部に産廃処分場が建設されることによる影響を危惧されており、「命の水」を守ってほしいと強く訴えられました。

流域の4自治体、約30万人の生活を潤す庄川沿岸用水の取水施設である合口用水ダムも視察しました。

今後、株式会社アルトから岐阜県へ提出されている事業計画の審査状況を注視しながら、活断層、線状降水帯による集中豪雨、盛土の危険性、生態系への影響などについて、客観的な調査を進めるとともに、流域自治体の議会とも連携して、精力的に活動を展開してまいります。



## 高校生との意見交換会を開催

市民の多様な意見を把握し市政への政策提言に反映させることを目的に、また、将来を担う高校生に議会を身近に感じてもらえるよう、高校生との意見交換会を開催しています。

R4年度より学校等に訪問するアウトリーチ型での開催に変更し、今年は1月22日から1月30日にかけて実施しました。

また、飛騨特別支援学校では、卒業後の進路などについて先生方との意見交換を行うとともに授業の様子を見学しました。



高山工業高校



高山西高校



飛騨高山高校



斐太高校

### 高校生からの主な意見

- ・就職先を検討する際に、自分のスキルを活かせる職場が高山にあるのか知る機会が欲しい。
- ・支所地域在住で市街地へ通学する学生の移動負担の軽減や、居場所づくりができないか。バスが発車するまでの待時間に、駅周辺で勉強できる場所がない。
- ・大人も子どもも遊べる場所が少ないので増やしてほしい。
- ・若者には遊べる場所を。高齢者には交通網をもっと便利に。
- ・原山市民公園の屋外に大型遊具が整備されることは期待しているが、屋内施設の整備もしてほしい。
- ・定時制に通学しているが通学路が暗い。町内会から要望も出されているらしいが、議会も後押ししてほしい。

## 常任委員会等の協議・報告事項（1月～3月）

### ● 総務環境委員会 ●

1月22日	報告事項	行政組織の見直しについて
2月16日	報告事項	投票区の見直しについて
	報告事項	高山市土地開発公社の解散について
	報告事項	令和6年度税制改正大綱における地方税の改正概要について

### ● 福祉文教委員会 ●

1月23日	協議事項	障がい者福祉総合計画の策定について
	協議事項	老人福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について
	協議事項	学校給食施設（高山センター）の整備方針について
	協議事項	生涯学習施設の使用規定の見直しについて
	報告事項	高山市民プール（赤保木公園）の管理運営について
2月19日	協議事項	新火葬場の建設地について

### ● 産業建設委員会 ●

1月24日	協議事項	獣害防止体制の充実について
	協議事項	（一財）高根村観光開発公社の解散に向けた市の対応について
3月18日	報告事項	水道事業及び下水道事業の現状について
	報告事項	公共事業用地の取得について
	調査事項	ふるさと納税について

### 自治基本条例等及び総合計画に関する特別委員会

2月19日	報告事項	第九次総合計画の策定に係る調査分析及び市民意見の把握の状況について
3月22日	協議事項	第九次総合計画における地域のまちづくりのあり方について

### 高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会

1月24日	協議事項	高山駅西地区複合・多機能施設整備等における事業手法等について
2月20日	協議事項	高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画の策定について

# クローズアップ特別委員会

## 高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会

高山市議会では高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会を設置し、高山駅西地区におけるまちづくりに関する調査研究をすすめています。

令和5年3月に策定された「高山駅西地区まちづくり構想」では、構想の中で高山駅東西の役割、まちづくりのコンセプトが示され、市民文化会館、公民館、総合福祉センターなどの機能を複合化・多機能化した高山駅西地区複合多機能施設等の整備に向けて、機能や規模、実施手法、官民が連携した取組をすすめることとしています。令和5年度中に「高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画」を策定することとしており、複数回にわたり特別委員会との協議が行われました。特別委員会における協議内容等について報告します。

### ○高山駅西地区まちづくり構想

基本コンセプトを「市民の笑顔と心をはずませる プラットホーム」とし、大ホールや多目的ホール等の文化芸術機能、誰もが気軽に立ち寄り交流できる機能、健やかな育みと子育て家庭を支える機能、公共交通機関の待ち時間等を快適に過ごすことのできる機能、市内各所で行われるイベントや活動などが発信・共有できる機能、豪雪豪雨などの自然災害から市民や観光客を守る防災機能を備える施設を整備する方針が示されました。



### ○事業手法について

官民連携で整備する方針が示されている中で、様々な形の連携手法があることから、事業手法について協議をすすめました。市からは様々な手法の比較において運営者先行選定方式 (DB) が総合的な評価ポイントが高いことから、運営者先行選定方式を採用する方針が示され、特別委員会としてその方向性を確認しました。

### ※運営者先行選定方式 (DB方式)

施設の設計・施工よりも前に運営事業者を選定し、その後に設計・施工事業者を一括して選定する方式

### ○事業スケジュール

施設	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
複合・多機能施設	運営事業者選定	設計・施工事業者選定	設計	設計	施工	施工	供用開始
駐車場 (新設)				設計	施工	施工	供用開始

### ○特別委員会における主な論点

- ・子育て支援機能スペースの確保
- ・整備費140億円の妥当性と財源の確保
- ・整備予定施設 (現民間所有地) と駐車場予定地 (現文化会館) のアクセスと安全対策
- ・時代が変化していく中で、柔軟な対応で更新可能なものとして整備することの必要性
- ・コンセプトのふれあい、にぎわい、つながりの具現化が可能な施設整備
- ・事業の実施における市内事業者の参画
- ・高山市、運営事業者、設計・施工事業者の責任・役割の明確化と連携の重要性

### ○事業手法の方向性の確認

- ・公共施設の建設におけるPPP (官民連携) の手法は全国的に取組がすすめられています。高山市がすすめようとしている運営者先行選定方式は全国にも例が少ない状況ですが、運営事業者を先行して選定することにより、運営事業者の意向を反映した設計・施工が可能となるとともにコストの削減も期待できるとされています。

高山市では、初めての試みであり、責任区分や円滑な事業の実施における様々な課題も想定されますが、官民の連携によって、市民が望む施設整備に向けて、特別委員会としても関わっていきます。

## 地域別市民意見交換会

### 令和5年度の地域別市民意見交換会は

10月31日から11月29日にかけて、市内21地区において意見交換会を行いました。

いただいたご意見は所管する常任委員会等に割り振り、対応を検討し、主なご意見に対する現時点での市議会の考えとして取りまとめました。

今号では抜粋して掲載しています。一覧表形式のまとめは市議会ホームページをご参照ください。

市議会ホームページ  
R5地域別市民意見交換会



### テーマ① 防災

市民

・指定避難所で数日間避難生活ができるよう食糧などの備蓄品をしっかり整えていただきたい。



・避難所における過酷な状況をどれだけでも回避できるような環境整備、災害等の支援物資の供給体制の充実に努めるよう調査研究します。

議会

### テーマ② 少子化

市民

・各地区で少子化が深刻となっている。若い世代が高山に残りたいと思えるまちづくりをどのように考えているか。



・魅力あるまちを形成し若い世代が高山に残る子育て支援策の充実、利便性の高いインフラ整備が進められるよう議論していきます。

議会

### テーマ③ 高齢者福祉

市民

・買い物・外出支援を充実させてほしい。支所地域にあるJAのAコープの閉鎖、運転免許返納後の支援の必要性、社協の外出支援のような手厚い支援の検討、移動販売車の支援の必要性がある。



・外出・買い物支援の希望が高まっていることから、公共交通機関の整備や、移動販売支援等の必要性を感じています。他の自治体の事例や法の規制等の調査・研究を進め、充実に向けて取り組みます。

議会

### テーマ④ 医療

市民

・小児科不足や医師の高齢化、支所地域の医療機関の脆弱性、医療のDX化の進捗、高山赤十字病院と久美愛厚生病院の役割分担についてどう考えているか。



・医師が手薄な科、これから手薄になると予想される科を把握し、戦略的な医師確保の計画が必要です。支所地域の医療アクセスについてもDX化やタスクシフトを進める中で研究・検討が必要です。高山赤十字病院と久美愛厚生病院、高山市の3者協定を有効に活かし、より安心安全な地域医療の構築を進められるよう議論していきます。

議会

### テーマ⑤ 公共交通

市民

・ライドシェアについて市はどう考えているのか。試験的に、高山市でも実証実験などを進めてほしい。



・国で様々な議論がされている中、議会でもライドシェアの調査を始めています。市では国の動向を注視しており、議会も重要施策として調査研究します。

議会

## 令和6年 高山市議会 6月定例会日程(案)

開会日	曜日	会 議 内 容		場 所
5/30	木	午前9時30分	本会議 (提案説明、質疑、委員会付託)	議 場
6/3	月	午前10時	一般質問通告締切	
4	火	午前9時30分	常任委員会 (議案の付託された委員会)	各委員会室
6	木	午前9時30分	本会議 (一般質問)	議 場
7	金	午前9時30分	本会議 (一般質問)	議 場
10	月	午前9時30分	本会議 (一般質問)	議 場
		本会議終了後	議会運営委員会	全員協議会室
13	木	午前9時30分	総務環境委員会	全員協議会室
14	金	午前9時30分	福祉文教委員会	全員協議会室
17	月	午前9時30分	産業建設委員会	全員協議会室
18	火	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
20	木	午前9時30分	本会議	議 場

  このマークが付いている日はインターネット・ケーブルテレビで中継します。

## 議会トピック

## ファシリテーション研修

1月18日、早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村健氏を講師にお迎えし、高山市議会において初となる「ファシリテーション研修」を開催しました。

高山市議会基本条例では、議員間の討議の目的を「議論を深めたり合意形成を図るため」としており、議員同士が意見をぶつけ合ったり、意見をつなげながら合意に向かっていくような状態を目指したいと考えています。

議長や委員長等のファシリテーションから共通理解を探し出し、議員相互の意見交換会等が有意義なものとなるよう努めていきます。

※ファシリテーションとは、会議やミーティングを円滑に進める技法のことをいいます。



## 高山市議会「議会モニター」募集しています

## 【議会モニターの仕事】

「ぎかいだより」や議会映像情報などをご覧いただき、議会や「ぎかいだより」に対するご意見をいただきます。

## 【募集対象】

年齢18歳以上の市民（市職員は除く。）

## 【応募方法】

「議会モニター申込書」に必要事項を記入の上、令和6年5月31日（金）までに、議会事務局へ提出してください。様式は市議会ホームページからダウンロードできます。申込書の郵送を希望される方は、議会事務局にお知らせください。

## 【任期】

令和6年6月1日から令和7年5月31日までの1年間

## 【その他】

無償となります。できる限り在宅で活動できるようにします。

## 【お問合せ先】

「議会モニター」に関するお問合せは、議会事務局までお願いします。



## ぎかいだよりの表紙写真などを募集しています

議会広報紙がより身近なものとなるように、市民の皆様から、ぎかいだよりの表紙や紙面で使用する写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページでも確認できます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

◆次号令和6年8月1日発行のぎかいだより第56号の写真の応募締切は令和6年7月10日水です。



## 編集後記



従来の公共施設とは、誰もが「利用できる」利用者の公平性に配慮した整備・運営が優先されてきた。令和6年度高山市一般会計当初予算額は、過去最大の617億円となり著大事業の推進と同時に、市民の想いに応える新たなソフト事業等の展開が示された。

確実に進行する人口減少・少子高齢化を背景に、今後の財政は厳しい状況へと進むが、公共施設に本来期待される機能には、利用者の様々な要望に応えるためのサービスの充実

【利用厚生：物を役立たせて用い、人民の生活を豊かにすること。】がある。

しかし、時代の変化に応じて求められるニーズ・価値観は移り変わる。誰もが「利用したい」と思える公共施設へと生まれ変わることが、持続可能性を確保した市民に愛される施設の姿でもある。

最後に、1月の能登半島地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。高山市議会でも微力ながら義援金の形で協力をさせて頂きましたが、一刻も早い被災地の復旧・復興をお祈り申し上げます。

